

平成 25 年度教育事業実施報告

国立沖縄青少年交流の家

- 1 教育事業名 平成 25 年度教育事業（モデル的プログラム開発事業）環境教育
「イチ・ニ・サンゴ大作戦」
～ 私たちが育む命 ～
- 2 ねらい サンゴという題材をとおして多様な生物のつながりや地球規模の環境課題について知識を深めることにより、身近な環境問題について関心を高め地域の一員として積極的に環境保全活動に取り組もうとする意欲を高める。
- 3 期日 平成 25 年 10 月 12 日（土）～14 日（月）2 泊 3 日
- 4 場所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 26 名
- 6 参加人数 23 名
- 7 参加者内訳 小学生 5・6 年生 23 名
(男性 9 名、女性 14 名) (県内 23 名)
- 8 講師 • 森有紀子氏 (ネイチャーワークス所属) … 「サンゴのお話」
• 平田春吉氏 (平田ダイビングサービス) … 「サンゴの植え付け体験」
• スノーケリングインストラクター 6 名

9 実施プログラム

10月12日（土）

集合	出港	移動	オープニング	昼食	作戦 1 (海マスターになろう !)				移動	つどい・クラス	サンゴのお話	入浴	休憩	就寝
					仲間づくり	とかしく湾の観察 (スノーケリング基礎と海中観察)								
10月13日（日）	7:30	9:30		13:00		作戦 2 (サンゴ博士になろう !)			17:00	19:00		20:30	21:30	

10月14日（月）

起床洗面	つどい・移動	朝食	作戦 2 (サンゴ博士になろう !)				移動	つどい・クラス	英語会話	入浴	休憩	就寝	
			サンゴの植え付け体験	昼食	サンゴウォッキング (スノーケリング・カヤック・スーパーフロート)								
10月14日（月）	7:30	9:00	10:20	12:00	13:10								

10 事業の様子

【1日目】



オープニングと仲間づくり



とかしく湾の観察

「サンゴのお話」

サンゴのテリトリー オーズ

【2日目】



「サンゴの植え付け体験」



サンゴウォッチング



「イチ・ニ・サンゴ大作戦」発表会



11 参加者の声

- ・サンゴのことをたくさん知ることができた。
- ・サンゴはただ海をきれいにしているものと思っていたけど、サンゴがなくなると生活が少し変わると知り、私もいつもの生活を考えて行動しようと思った。
- ・友達との交流が深くなった。
- ・スノーケリングができるようになった。
- ・将来の夢が決まったことが新しい発見だった。
- ・自分で行動できるようになった。
- ・サンゴが地球に必要なことに気づいた。

12 担当者所見

【成果】

天候不安定な状況での開催となり日程変更も多々あったが、とかしく湾の豊かな海洋環境の観察、サンゴ礁の生態系について学ぶ機会となり、その環境を育む海そのものについて関心を高めさせることができた。自分たちの手で新たな命を育むことの一つとしてサンゴの植え付けを行ったが、最後の発表会でも複数の参加者から「サンゴを増やす」という観点からの意見が多く印象に残る活動となった様である。また、「イチ・ニ・サンゴ大作戦」発表会ということで、とかしく湾に視点をむけてサンゴの森をつくるために自分ができることを考え発表を行ったが、身近なことから環境に配慮するという意見が多く見られ、参加者がこのように未来を見通した活動に積極的に取り組むことができた。

【課題】

- ①スノーケリングを中心とした活動のため、海の状況によっては活動範囲が制限された。
- ②より充実した研修にするために荒天時対応をいくつものパターンで検討する必要がある。
- ③参加者の安全管理のために、海洋研修時をはじめ陸上での活動中も多くのスタッフが必要である。